幼小科のページ　9･10　月

小学校４年生の賢太君は、夏休みに熱中症になってしまいました。

「父さん、夏はどうしてあんなに暑かったの？」賢太君が言いました。

「それはね、地球をお造りになった神様のことを、人間が忘れているからだよ」

「ふうん」賢太君は不思議そうに返事をしました。

「神様は地球にある全てのもの、人間も動物も水も木もお造りになったんだよ。人間はそのことを忘れて、空気も海も森もすっかり汚してしまった。そのため暑い夏になったり、洪水が起こったりしているんだ」お父さんが言いました。

「そうか、地球は神様の持ち物なんだ。みんなが『神様、地球をありがとう』っていう気持ちになれば、もう汚さないよね。きっときれいな地球になって、僕も熱中症にならないよね。そうだ、僕には何ができるか考えてみよう」賢太君は元気な声で返事をしました。

「初めに、神は天地を創造された」

創世記１章１節